

データでみる大正大学

2006

平成18年4月1日▶平成19年3月31日



大正大学

理事長  
里見 達人

十年前、本学創立70年の折には設立四宗団をはじめ卒業生の皆様、そして本学内外の関係者のかたがたの大きなお力をいただいて図書館棟、研究棟など高層施設の充実を図ってまいりました。

それから十年、大学をめぐる世相は急激に変わってまいりました。

国立大学の法人化は、国立大学も経営努力をしなければ淘汰される立場となり、私立大学と同じく学生確保が重要となり、国公立大学・短期大学の入学定員は18歳人口を上回る時代が到来いたしました。

以前から懸念されていた大学全入がまさに現実の問題となったのです。

私立学校振興・共済事業団は大学経営強化の専門家会議を中心に報告書をまとめています。

その報告書に、

- (1) 組織体制の強化（経営体制の強化、組織の改革、中長期計画・監査制度の充実）
- (2) 収入の確保（募集活動の強化、教育力の強化、その他の収入源の確保）
- (3) 支出の抑制（人件費の抑制、経営の節減）

などをはじめ50以上の事例が掲載されています。

今や大学も時代の進運に遅れることは、その存続すら危うくなるのです。

このような厳しい状況下、本学も時代の要請に応えるべく組織の改革をはじめ、経営努力を行ってまいりました。

その一、二を挙げますと、大学基準協会による第三者評価の意向に応じて、学長が兼任していた大学院長を新たに分けて、平成19年度より大学院長制を確立し大学院の一層の充実を図ることに努めます。

更に本学の教育力を高めるために、同時に副学長制を設け、厳しい大学間の競争に万全の備えを図ります。

学生確保に全力を尽くすことは、この著しい少子化のなかで当然ではありますが、学生募集への大学を挙げての意識の向上と募集戦略、広報活動の活性化などに経営側がより強い関心を持っていきたいと考えています。

収入源も学生納付金と補助金にたよるだけでなく、近い将来には募金室等の新設を視野に入れ寄付金収入の確保を日常的に図り、事業法人の振興にも努めたいと考えています。

いま平成18年度を顧みて、このような大学をとりまく経営環境の厳しいなかで、本学も更に一層の地域貢献、教育研究の特色の発揮、有為の人材の育成に努め、常時、自己点検をして、従来にまして経営の見直し、改革を進めていかなければならないと覚悟しております。

# Topics 創立80周年記念事業

平成18年度は本学創立80周年の年にあたり、さまざまな記念事業を行いました。

## ■ 「感謝の夕べ」



平成18年11月7日、東京プリンスホテルにおいて創立80周年記念「感謝の夕べ」が開催され、設立4宗の役職者、本学関係の諸団体、同窓会・父母会役員・学内教職員など約320名が出席しました。里見達人理事長・星野英紀学長の挨拶の後、来賓の祝辞があり、駒澤大学学長池田練太郎先生の乾杯の発声で祝宴が始まりました。その後、設立宗団の代表、関連大学の学長などの挨拶が続き、

本学雅楽部を中心とした雅楽の演奏と増上寺雅楽会による舞楽が披露されました。



これまでの多くの方々のご尽力により本学は80周年を迎えることができました。さらなる発展のために一層のご協力を願いつつ、祝宴は和やかな中にお開きとなりました。

## ■ 「心の歌フォーラム」



平成18年9月開催。場所：長野市民会館 内容：第1部「トークと合唱のひとつとき」本学音楽部混声合唱団他、第2部「東京混声合唱団によるコンサート」

## ■ 「大正大学フェア」



平成18年9月開催。場所：仙台市民会館 内容：第1部「日本文化伝承と雅楽」星野英紀学長と本学客員教授東儀秀樹氏による対談、第2部「雅楽のこころ音楽のちから」東儀秀樹氏によるトーク&ライブ

## ■ 「大正大学音楽祭」



平成18年11月開催。場所：本学礼拝堂 テーマ：「日本伝統文化とこころの融合」内容：第1部「声明と雅楽（舞楽）」、第2部「東儀秀樹氏コンサート&学生とのコラボレーション」

## ■ 「国際学術シンポジウム」



平成19年2月開催。場所：本学大会議室 テーマ：「いのちと宗教」の教育を考える 内容：第1部「いのちの教育」とスピリチュアリティ、第2部「宗教教科書の国際比較」

# 資金収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

## 収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,097,290	4,114,304	△17,014
手数料収入	148,135	138,351	9,783
寄付金収入	265,293	264,293	1,000
補助金収入	311,000	347,204	△36,204
資産運用収入	16,000	23,120	△7,120
事業収入	8,800	11,111	△2,311
雑収入	103,090	113,828	△10,738
前受金収入	971,200	1,114,755	△143,555
その他の収入	778,394	690,646	87,748
資金収入調整勘定	△1,145,522	△1,175,682	30,160
前年度繰越支払資金	3,820,547	3,820,547	—
収入の部合計	9,374,227	9,462,479	△88,252

## 支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,476,601	2,412,155	64,446
教育研究経費支出	1,187,080	1,078,607	108,473
管理経費支出	509,719	469,945	39,774
借入金等利息支出	6,077	6,077	0
借入金等返済支出	100,000	100,000	0
施設関係支出	41,996	36,928	5,068
設備関係支出	115,799	114,974	824
資産運用支出	1,023,210	1,005,461	17,749
その他の支出	272,504	272,030	474
[予備費]	34,466	—	34,466
資金支出調整勘定	△213,994	△238,995	25,001
次年度繰越支払資金	3,820,764	4,205,294	△384,530
支出の部合計	9,374,227	9,462,479	△88,252

資金収支計算書は、本学の当該会計年度の諸活動に対応する、全ての収入・支出の内容を明らかにし、且つ支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

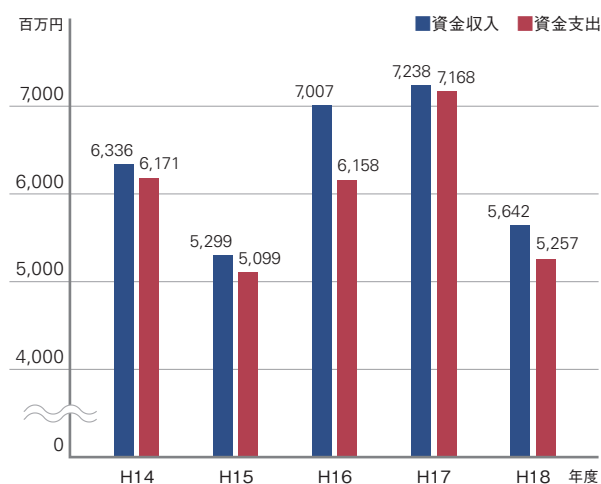
資金収入と資金支出の差額である次年度繰越支払資金は、42億円余となり予算を3億8千万円余上回りました。

内訳をみますと、収入面では、学生生徒等納付金収入及び補助金収入が見込みを上回ったほか、前受金収入が予算に比して1億4千万円余も上回るなど、収入全体として予算を8千万円余上回りました。

支出面では、人件費が予算を若干下回り24億1千万円余となったほか、教育研究経費支出並びに管理経費支出等、全体的に予算額を下回る結果となりました。

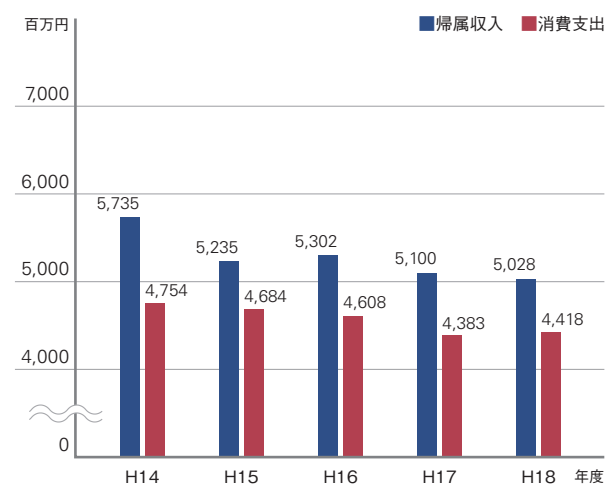
資産運用支出のうち、運用の主なものとして、退職給与引当特定資産（社債）へ2億円（うち積上げ5千万円）、大学整備費引当特定資産（社債）へ3億円（積上げ4億円のうち）、総合仏教研究費引当特定資産（社債）へ1億円（定期預金よりシフト）となっており、今年度の社債への運用合計は6億円、今年度末の運用合計は25億円となりました。

## 資金収支の推移



(注) 資金収支の推移の「資金収入」は資金収支計算書の「収入の部合計」から「前年度繰越支払資金」を控除した金額であり、「資金支出」は「支出の部合計」から「次年度繰越支払資金」を控除した金額です。

## 消費収支の推移





## 消費収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

### 消費収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	4,097,290	4,114,304	△17,014
手数料	148,135	138,351	9,783
寄付金	268,042	279,690	△11,648
補助金	311,000	347,204	△36,204
資産運用収入	16,000	23,120	△7,120
事業収入	8,800	11,111	△2,311
雑収入	103,090	113,828	△10,738
帰属収入合計	4,952,357	5,027,611	△75,253
基本金組入額合計	△250,000	△254,949	4,949
消費収入の部合計	4,702,357	4,772,661	△70,304

### 消費支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,454,097	2,417,729	36,368
教育研究経費	1,599,080	1,470,980	128,100
管理経費	539,719	520,091	19,628
借入金等利息	6,077	6,077	0
資産処分差額	0	2,825	△2,825
[予備費]	45,000	—	45,000
消費支出の部合計	4,643,975	4,417,704	226,271
当年度消費収入超過額	58,381	354,957	—
前年度繰越消費支出超過額	1,231,987	1,231,987	—
翌年度繰越消費支出超過額	1,173,605	877,029	—

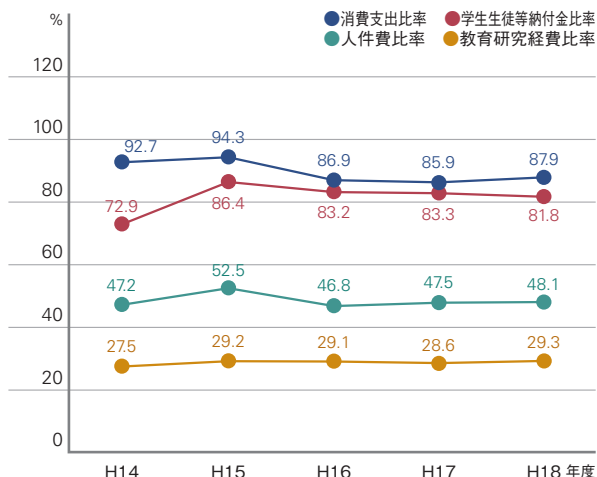
消費収支計算書は、計算目的に違いはありますが、いわば企業会計の損益計算書にあたるもので、本学の経営状態が健全であるかどうかを示すものです。

帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、寄付金（現物寄付金除く）、補助金、資産運用収入、事業収入及び雑収入の法人に帰属する負債とならない収入で資金収入の当該科目と同額であります。

帰属収入50億2千万円余から基本金組入額を控除した消費支出に充当することができる消費収入は47億7千万円余となり、予算に対し7千万円余上回りました。

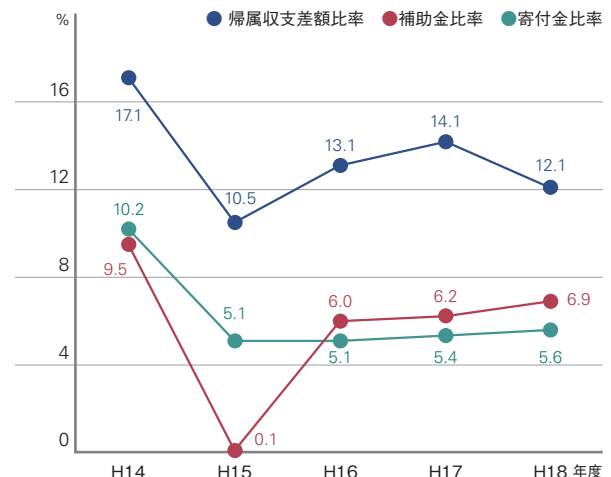
消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費で、44億1千万円余となり、予算を下回りましたので、平成18年度決算における帰属収支差額は6億円余、消費収支差額は3億5千万円余の収入超過となりました。

## 消費収支関係財務比率の推移 ①



消費支出比率=消費支出/帰属収入  
 学生生徒等納付金比率=学生生徒等納付金/帰属収入  
 人件費比率=人件費/帰属収入  
 教育研究経費比率=教育研究経費/帰属収入

## 消費収支関係財務比率の推移 ②



帰属収支差額比率=(帰属収入-消費支出)/帰属収入  
 補助金比率=補助金/帰属収入  
 寄付金比率=寄付金/帰属収入

# 貸借対照表

平成19年3月31日現在

## 資産の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	15,965,115	15,772,154	192,960
有形固定資産	11,944,029	12,221,122	△277,092
その他の固定資産	4,021,085	3,551,032	470,052
流動資産	4,368,146	3,944,345	423,800
合 計	20,333,261	19,716,500	616,761

## 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部	2,900,161	2,893,307	6,854
固定負債	1,386,249	1,480,675	△94,425
流動負債	1,513,912	1,412,632	101,280
基本金の部	18,310,129	18,055,180	254,949
消費収支差額の部	△877,029	△1,231,987	354,957
合 計	20,333,261	19,716,500	616,761

## (注1)

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
減価償却額の累計額の合計	5,678,611	5,246,787	431,824

## (注2)

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金未組入額	276,355	356,573	△80,217

※ 基本金未組入額は翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額です。

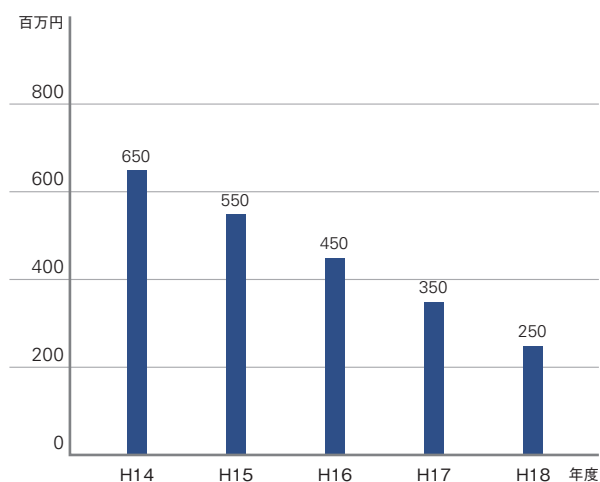
有形固定資産は、図書購入を約1億円行いましたが、施設への大型投資が、老朽化した自動火災報知機、非常放送設備の代替及び落雷対策関係工事で約2千9百万円等のみであった為、減価償却を主に2億7千万円余の減少となりました。

その他の固定資産は、引当特定資産への積上げ4億7千万円を行ったことにより4億7千万円余の増加となりました。

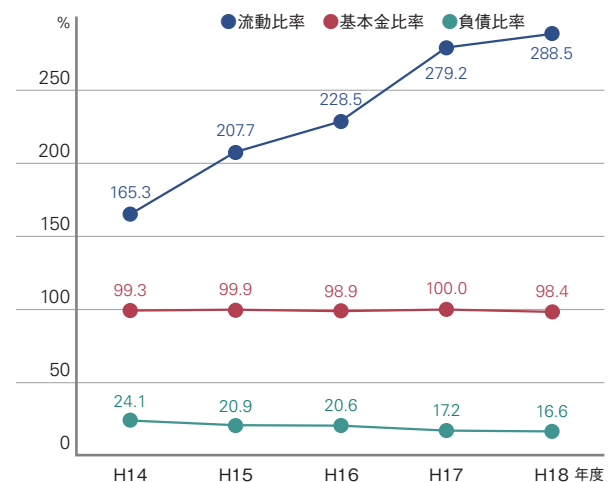
流動資産は、繰越現預金を主に4億2千万円余の増加となりました。

一方、負債の部で、借入金が増加したこともあり、正味資産は6億9百万円余の増加となりました。

## 借入金残高の推移



## 貸借対照表関係財務比率の推移



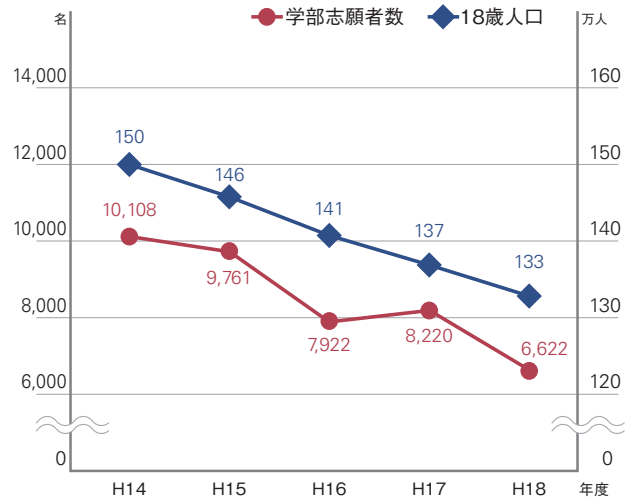
流動比率 = 流動資産 / 流動負債      基本金比率 = 基本金 / 基本金要組入額  
 負債比率 = 総負債 / 自己資金 (= 基本金 + 消費収支差額)

学部・学科別志願者数・合格者数・入学者数 平成18年度

(単位：名)

学部	学科・専攻	志願者数	合格者数	入学者数
人間学部	仏教学科	294	182	142
	人間福祉学科	2,502	481	265
	(社会福祉学専攻)	(1,064)	(303)	(165)
	(臨床心理学専攻)	(1,438)	(178)	(100)
	人間科学科	943	351	171
	計	3,739	1,014	578
文学部	表現文化学科	1,519	307	171
	歴史文化学科	1,364	480	226
	計	2,883	787	397
合計		6,622	1,801	975

学部志願者数・18歳人口の推移

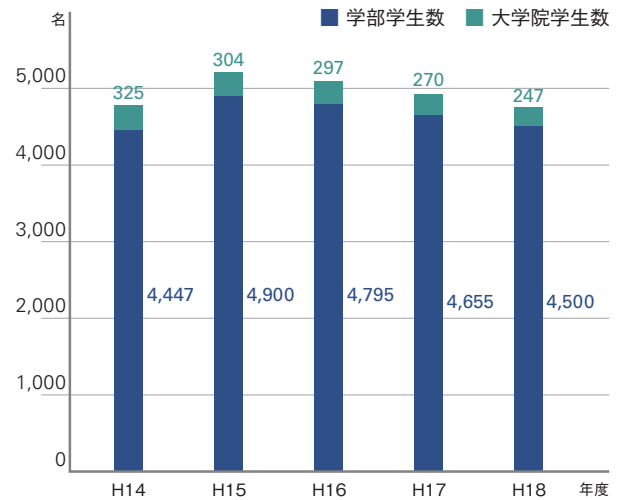


学部・大学院別定員・学生数等 平成18年5月1日現在

学部学生数 (単位：名)

学部	入学定員	収容定員	編入学定員	学生数
人間学部	485	2,083	69	2,618
文学部	340	1,482	46	1,882
合計	825	3,565	115	4,500

学生数の推移



大学院学生数 (単位：名)

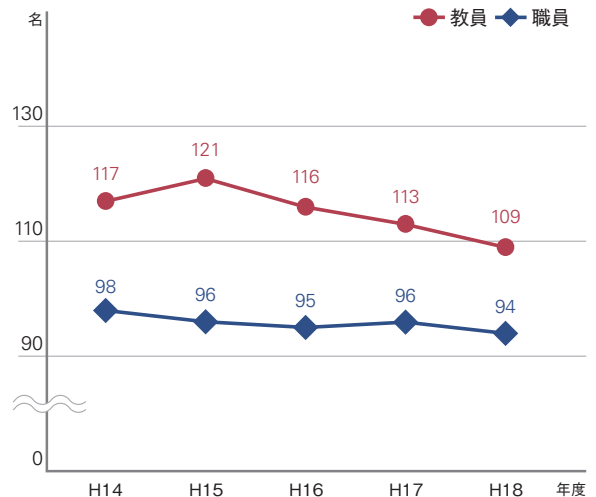
研究科	博士前期課程 (修士課程)			博士後期課程		
	入学定員	収容定員	学生数	入学定員	収容定員	学生数
仏教学研究科	40	80	92	7	21	24
人間学研究科	48	96	56	6	18	13
文学研究科	50	100	44	12	36	18
合計	138	276	192	25	75	55

教職員数 平成18年5月1日現在

教員数 (専任教員) (単位：名)

	教授	助教授	専任講師	助手	合計
人間学部	42	19	5	0	66
文学部	32	7	3	0	42
I類	0	0	1	0	1
合計	74	26	9	0	109

教職員数の推移

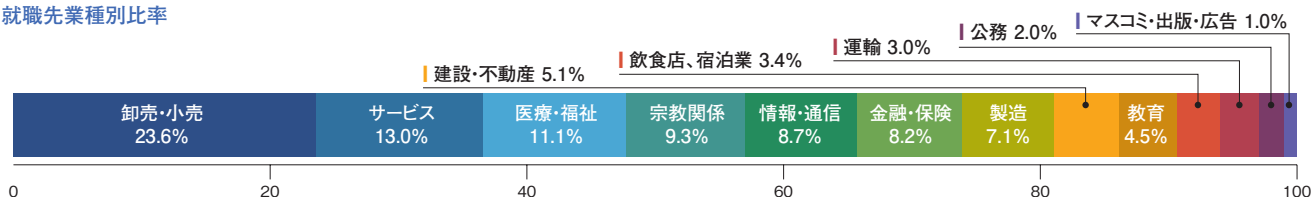


職員数 (単位：名)

	専任	常勤嘱託	合計
	61	33	94

# 就職状況

就職先業種別比率



## 主な就職先

卸売・小売	(株)大塚家具/日本瓦斯(株)/(株)東武百貨店/資生堂販売(株)/イオン(株)/(株)東急ハンズ/花王化粧品販売(株)/リコー販売(株)/(株)ドッドウエルビー・エム・エス/(株)セブンイレブン・ジャパン/(株)東急ストア/(株)伊勢丹/(株)ファイブ・フォックス/(株)AOKIホールディングス/(株)京王百貨店	製造	大和ハウス工業(株)/(株)カネボウ化粧品/大鵬薬品工業(株)/科研製薬(株)/(株)三陽商会/(株)銀座コージーコーナー/日立建機(株)/アサヒビール(株)
サービス	TBCグループ(株)/(株)読売旅行/(株)サイバー・コミュニケーションズ/エン・ジャパン(株)/(株)パソナ/いわき市農業協同組合/テンプスタッフ(株)/(株)JTB首都圏/(株)ジェイティービー/岩手南農業協同組合/(株)リクルート/日本郵政公社/あずさ監査法人	建設・不動産	トヨタホーム東京(株)/(株)大京住宅流通/(株)エイブル/(株)木下工務店/(株)東急コミュニティー/住友不動産販売(株)/積水ハウス(株)/(株)エム・シー・コーポレーション
医療・福祉	(株)日本医療事務センター/(学)埼玉医科大学/(社福)浅草寺病院/日本赤十字社/(社福)東京福祉会/(社福)南東北福祉事業団/千葉県精神保険福祉センター/埼玉県社会福祉協議会	教育	(株)明光ネットワークジャパン/(株)栄光/(学)昌平翼/東京都内公立中学校/静岡県内公立中学校
情報・通信	ソフトバンクBB(株)/(株)ソフトクリエイト/ソフトバンクモバイル(株)/(株)エヌ・ティ・ティエムイー/第一生命情報システム(株)/(株)スクウェア・エニックス/NTTアドバンステクノロジ(株)/(株)インテック	飲食店、宿泊業	(株)東京ドームホテル/(株)ホテルメトロポリタン/(株)森ビルホスピタリティコーポレーション/リゾートトラスト(株)/日本ホテル(株)/(株)日本ビューホテル/(株)プリンスホテル
金融・保険	川口信用金庫/(株)茨城銀行/朝日信用金庫/瀧野川信用金庫/大和証券(株)/明治安田生命保険(相)/日本興亜損害保険(株)/(株)千葉銀行/(株)栃木銀行/(株)東京都民銀行/長野県信用組合/巢鴨信用金庫/(株)埼玉りそな銀行/住友生命保険(相)/日本生命保険(相)	運輸	(株)JALナビア東京/佐川急便(株)/東日本旅客鉄道(株)/JALスカイサービス(株)
		公務	陸上自衛隊/海上自衛隊/東京国税局/相馬地方広域市町村圏組合/警視庁/茂原市/千葉県警/本庄市役所
		マスコミ・出版・広告	(株)ハウフルス/(株)映広/ジュピターショップチャンネル(株)/(株)フィールドメディアネットワーク

## 役員の状況

平成19年3月31日現在

### 理事

理事長：里見達人

学長：星野英紀

常任理事：小野塚幾澄、石上善應、杉谷義純、船岡芳昭

理事：岡本宣丈、榎本昇道、菅野秀浩、廣橋義敬、宇高良哲

監事：山田俊和、鈴木道雄、鈴木中也、安孫子虔悦

評議員：28名（うち6名理事兼務）

顧問：4名



### 学校法人 大正大学 総務部

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1

TEL 03-3918-7311 FAX 03-5394-3037

E-Mail info@mail.tais.ac.jp